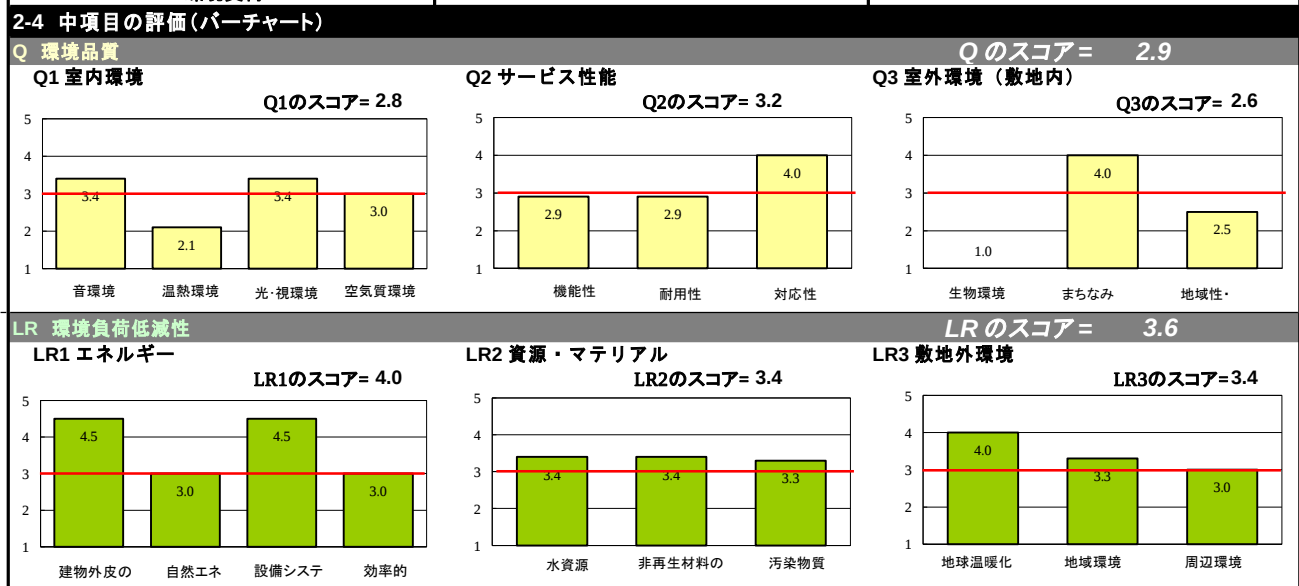
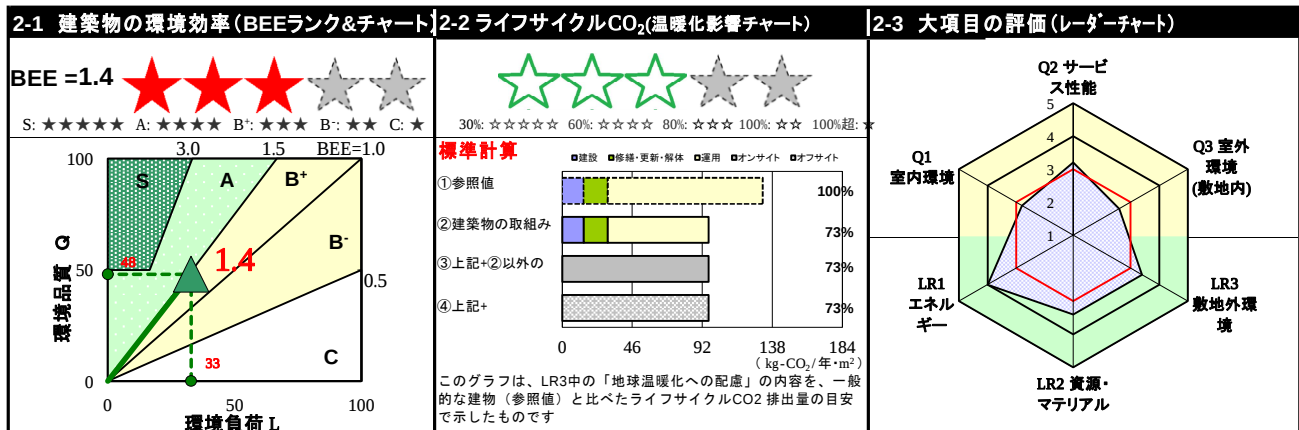


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)箕面船場東1丁目賃貸ラボ	階数	地上 13F、地下 1F
建設地	大阪府箕面市船場東	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,400 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年12月 予定	評価の実施日	2025年12月22日
敷地面積	2,127 m ²	作成者	山下一成
建築面積	1,115 m ²	確認日	2026年1月9日
延床面積	14,760 m ²	確認者	高橋 健一郎



3 設計上の配慮事項		
総合 主要給排水配管は耐用年数が高い材料を使用している。 ライフサイクルCO ₂ 排出率の低減に努め、地球環境保護に配慮している。		その他 特になし。
Q1 室内環境 開口部遮音性能:T-2以上。 2.0% ≤ [昼光率] < 2.5%	Q2 サービス性能 事務室の天井高2.7m以上 階高:3.9m以上。	Q3 室外環境(敷地内) 植栽により良好な景観を形成している
LR1 エネルギー BPI _m =0.85。 BEI _m =0.65。	LR2 資源・マテリアル 節水マなどに加えて、節水型便器も採用している。 LGSとOAフロアを使用している。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率73% 燃焼機器を使用していない。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

【建物概要】 建物名称		(仮称)箕面船場東1丁目賃貸ラボプロジェクト							
建設地		大阪府箕面市船場東							
用途／区分		事務所 工場							
【評価結果】	CASBEE 総合評価							B+	
①	CO2削減							4	
②	みどり・ヒート アイランド対策							2	
③	断熱性能							5	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分	評価対象外				評価対象外		
④	エネルギー消費性能							5	
	建築物省エネ法に基づく 省エネ性能ラベル	住宅(住棟)又は 複合建築物の住宅部分 非住宅建築物又は 複合建築物の非住宅部分	評価対象外 				評価対象外 4		
⑤	自然エネルギー直接利用							—	
	再生可能エネルギー	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—		—
	利用施設の導入状況	太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—		—
エネルギー消費量の報告								報告しない	
【評価項目】									
項目	評価内容						スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE LR3 敷地外環境 1. 地球温暖化への配慮						4.0	4	
② みどり・ヒートアイランド対策									
生物環境の保全と創出	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 1. 生物環境の保全と創出						1.0	2	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE Q3 室外環境(敷地内) 3. 2 敷地内温熱環境の向上						3.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE LR3 敷地外環境 2. 2 温熱環境悪化の改善						3.0		
③ 断熱性能	CASBEE LR1 エネルギー 1. 建物外皮の熱負荷抑制						4.5	5	
④ エネルギー消費性能	CASBEE LR1 エネルギー 3. 設備システムの効率化						4.5	5	
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE LR1 エネルギー 2. 自然エネルギー利用						3.0	—	
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。						報告する 報告しない	報告しない	
その他									
先進的技術の導入	技術の名称				考慮事項				
特に配慮した事項				ライフサイクルCO2排出率73% BPI _m =0.85。 BEI _m =0.65。					